



# 若い視点で区政をキリトル でんでん通信

Vol. 1 2019年11月26日発行

目黒区議会議員

かす ひろ  
かいでん 和弘

無所属・最年少で活動中!!

- 1993年 ● 11月23日生まれ
- 2006年 ● 目黒区立原町小学校 卒業
- 2012年 ● 都立桜修館中等教育学校 卒業  
(旧 都立大学附属高校)
- 2016年 ● 北海道大学 法学部 卒業
- 2016年 ● コンサルティング会社 就職
- 2019年 ● 目黒区議会議員 (現職)

特技・趣味 チェロ演奏、剣道 (2段)

好きなもの 野球観戦、水泳、旅行、鉄道、クラシック鑑賞、歴史研究

## Theme 25歳議員としての活動まとめ

皆様のご支援により区政へ送り出していただいてから、半年が経ちました。日々、目黒区政に若く新しい価値観を吹き込むべく精いっぱい活動させていただいておりますが、この11月に26歳になったのを機に、25歳議員としての活動をふりかえってご報告させていただきます。(日々ホームページでも発信しております。)

### 私の区議会での立ち位置

“教育”を第一のテーマとして取り組んでいる吉野区議、同じ20代の青木区議と一緒に、無所属の3人会派“新風めぐろ”を組み、チームで活動しています。3人の共通点は政治に声が届きづらい「若い世代」の応援。政党にありがちな「政治的事情」に左右されることなく、自由に活動してまいります。



### マニフェストの進捗(速報)



マニフェスト(□内)について私が議会で発言した内容のまとめです。指摘したことが結果として反映されてくるのはもう少し後になりますが、今後4年間かけて、どう変わってきたかご報告してまいります。

### 若い世代も区政へ参画 「目黒の未来は自分たちでつくろう」

- 「若者の声も聞いてください!」 ▶▶ 若者向けアンケート・座談会の実施
- ★「政治なんて私たちには関係ないよね」 ▶▶ 区立小・中学校での主権者教育
- 「目黒区は一体、どんなことをやっているの?」 ▶▶ 広報「めぐろ区報」の充実

「教えたらいいか」という方針を示したり、教えるときに使えるデータや資料を提供したりすることで、区内全域均等で質の高い主権者教育を目指していくべきではないでしょうか。」

主権者教育は主要科目のプラスアルファで済ませていいものではありません!

📍のバーコードから動画が見られます  
『令和元年第3回定例会-09月05日 本会議』  
をクリック (0分00秒~)

### 子育て施策の充実 「次の世代はみんなで育てる」

- 「子育てと仕事、両立させたい!」 ▶▶ 待機児童(保育園&学童)の解消
- 「子どものインフルで会社を休まなきゃ…」 ▶▶ インフルエンザワクチンへの補助
- ★「保育園のお迎えに間に合わない!」 ▶▶ ファミリー・サポート事業の拡充

うにすることも大事ですから、現在目黒区で10数時間しか実施していない“子どもを預かる方への研修”を、国基準の24時間に合わせて拡充していくべきではないでしょうか。」

かいでん「ファミリー・サポートセンターをもっと使いやすくするために、(同意をいただいた方だけ)病児病後児保育や夜間・早朝も利用できるようにしませんか? 一方でより安心して預けるよ

📍のバーコードから動画が見られます  
『令和元年第3回定例会-09月05日 本会議』  
をクリック (12分30秒~)



## ご高齢の方の活動場所の充実 「手ごたえのある日々を、目黒区で」

「まだ働けるのになぁ…」

「毎日家にいても張り合いがないなぁ」

★「週3回プールに行きたいけど、高いなぁ」

▶▶ ポイント付きボランティアの推進

▶▶ 生涯学習・サークル活動の応援

▶▶ 区営スポーツ施設の継続利用割引

かいでん「目黒区のプールに回数券を導入しませんか。継続的に利用する方を増やして区民の健康づくりを応援しましょう。目黒区のトレーニングセンターにはすでに定期券があって、たくさん

使う方を割引しているのに、プールにないのは不釣り合いです。ちなみに、23区のなかで目黒区と練馬区以外の21区のプールではすでに導入しています。」

### 他にもこんな問題を指摘しました

かいでん「目黒区民が割安で泊まれる契約保養施設（旅館）が箱根と伊東にありますが、年間240万円ほど、区のお金が使われています。安いホテルを区が紹介するなんて、今の時代に合わないのではないのでしょうか。それに、協定保養施設という、税金を投入せずに区民が安く泊まれる施設も40施設以上あるのですから、そちらだけで十分なのではないですか。」

👉のバーコードから動画が見られます

『令和元年決算特別委員会-09月24日

第3款 区民生活費の質疑』をクリック(6分03秒～)



👉のバーコードから動画が見られます

『令和元年決算特別委員会-09月24日

第3款 区民生活費の質疑』(0分00秒～)

かいでん「区政の不正を内部告発した職員を守る【公益通報者保護制度】のために、目黒区は毎年定額60万円を弁護士の方に支出しています。けれども、実はここ3年間通報件数はゼロで、制度開始から13年間でもわずかに2件しか活用されていません。活動が0件でも60万円を支払うのはおかしいので、実績次第で変動する歩合制にできませんか？」

👉のバーコードから動画が見られます

『令和元年決算特別委員会-09月19日

第2款 総務費の質疑』(3分20秒～)

かいでん「目黒区で自転車安全利用促進条例を制定しようという動きがありますが、果たして本当に必要ですか？すでに区では『交通安全計画』や『自転車走行環境整備計画』などの“方針”はありますから、あとは安全啓発などの個々の“事業”を改善していけばいいのではないのでしょうか。また、東京都でも“自転車保険の義務化”を含む条例改正がなされるとのことですから、わざわざ目黒区で条例制定する必要性は薄くないですか？」

👉のバーコードから議事録が読めます

『都市環境委員会(9月10日)』

(左の目次番号No.68～)

聞いたところ、目黒区では「ヘルメットの着用を全員、努力義務化できないか」と考えているそうです。



👉 委員会で香川県直島を視察。

不法投棄の問題で話題となった豊島のごみ処理についてご説明をいただきました。

選挙啓発の出前授業を見学 👉

主権者教育の現場を見学しながら、若い世代と政治との距離を縮める方法を考えています。



### ご意見を聞かせてください！

現在、以下のテーマについて特に力を入れて調査しています。

若い人と区政の距離を近づけるには何をすればいい？(教育?情報発信?)

ファミサポ事業の改善案

無償ボランティアというやり方は持続可能なのか?

図書館について思うこと(学校図書館も含む)

これらに関連すること等、区政への思いやアイデアをお聞かせください！(下のSNS・メールでお願いいたします。)  
※あくまでお考えを承ることが目的ですので、ご連絡いただいたことを理由とした後援会への勧誘はいたしません。

お問い合わせ

☎090-3145-1156

✉kazukaiden@gmail.com

発行者

かいでん 和弘

〒152-0013 目黒区南1-1-11



“トーク”で直接  
お話ししよう



区議ってこんなこと  
しているんです



よしなしごとを  
つぶやいています



@KazuKaiden